

平成 20 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 丸山幸彦

最終学歴	京都大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学
取得学位	京都大学博士（文学）
所属学会	日本史研究会・歴史学研究会・史学研究会・奈良大学史学会
現在の専門分野	日本中世史
研究課題	日本庄園史・四国地域中世地域史

【社会的活動】

徳島県文化財保護審議会会長

【学内活動】（学内職歴を含む）

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学会発表) 阿波地域史研究の夜明け	単	2008年5月	徳島県立博物館・企画展「郷土の発見－小杉楯邨と郷土史研究の曙－」記念講演会講演	小杉らの先輩にあたる江戸時代の阿波在住の国学者・儒学者たちがおこなっていた阿波地域史研究の内容のレベルの高さについて論じた。
山の世界の古代と中世	単	2008年5月	石川県立歴史博物館「第3回石川の歴史遺産セミナー・山村の構造と商品流通」講演	石川・岐阜両県にまたがる白山山地と四国4県にまたがる四国山地とを対比しながら山の世界の中世から近世にかけての動向を論じた。
(その他) 四国山地の中世と近世	単	2008年11月	放送大学徳島学習センター面接授業	四国地域の中世から近世にかけての動きをとくに山地の歴史に焦点をしばりながら述べた。